

## 病院長挨拶

「にとな便り」の創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

当院は国立佐倉病院と国立療養所千葉東病院が平成16年3月1日に統合し、国立千葉東病院として発足しました。そして翌月の平成16年4月1日に独立行政法人化し、独立行政法人国立病院機構千葉東病院となりました。統合に伴う整備工事は平成15年5月から始まり、平成17年9月末をもってすべて終了致しました。その間、工事に伴う騒音、埃、振動などで、また診療の制限などもあり、長い間、患者様方、また医療機関の先生方には大変ご迷惑・ご不便をおかけしましたが、お蔭様で十分な整備が行えたと思っております。

当院は国から、腎疾患に関する高度で先駆的な医療を行うとともに、臨床研究センターの機能を十分に発揮しての臨床研究や教育研修、さらに情報の発信などを行う高度専門医療施設（準ナショナルセンター）として位置づけられています。同時に神経・筋疾患、呼吸器疾患、重症心身障害、エイズを加えた5つの分野の政策医療が機能付与されています。しかしこれらの政策医療の分野だけでなく、外来医師担当表にお示したように、多くの診療科による診療を行っております。「国民一人ひとりの健康とわが国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進に努めます」という国立病院機構の理念のもと、当院に与えられた機能を十分に発揮して、地域の皆様方に信頼される病院となるよう、全職員が一丸となって努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



独立行政法人国立病院機構  
千葉東病院長 山岸 文雄

## 病院の理念

私たち国立病院機構千葉東病院は国民一人ひとりの健康とわが国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



国立病院機構 千葉東病院

## 目次

- 院 長 挨 拶 ……1
- 紹 介 診 療 科 ……2
- 総 合 案 内 日 誌 より ……3
- 食 の お 話 し ……3
- 外 来 診 療 担 当 医 表 ……4

## 外科

外科は消化器・乳腺内分泌・一般外科と移植外科に分かれます。

消化器・乳腺内分泌・一般外科

肝・胆道・膵・胃・大腸等の消化器のあらゆる疾患の手術を行っています。外科スタッフは全員消化器外科のエキスパートで手術経験も豊富です。また、乳腺・甲状腺の手術、そけいヘルニア、痔などの手術も行っています。その他一般外科疾患を幅広く取り扱い、各種高度先端医療器機を駆使した積極的な治療から、低侵襲的な腹腔鏡手術まで行っています。当院は腎疾患準ナショナルセンター機能を有する施設であり、腎不全（透析）や重症糖尿病の患者さんの外科手術も常時行っています。

移植外科

当院の使命（国の政策医療）として移植医療の実施があります。外科はその中心に位置し、腎臓移植、膵臓移植、膵島移植の実施に力を入れています。腎臓移植では千葉県の新潟移植の中心施設（日本臓器移植ネットワークの認定施設）として、移植情報センター、HLA検査センターを有し、常時献腎移植希望登録、献腎移植実施を行っています。また小児から成人までの生体腎移植手術

も実施しており、常時生体腎移植希望受付（移植情報センター）を行っております。膵臓移植は、2004年1月に本邦初の生体膵腎同時移植に成功し、現在、糖尿病性腎不全の患者さんを対象に脳死および生体膵臓移植希望患者さんの受付・登録・移植実施を行っています。また、当院はわが国の膵島移植（膵臓のランゲルハンス島細胞を移植する）実施体制の中心施設で、膵・膵島移植研究会「膵島移植班」の事務局がおかれ、膵臓摘出、膵島分離・培養、膵島移植の施設として認定されています。移植医療に万全の体制で臨んでいます。



剣持 敬



西郷 健一



丸山 通広



堺 尚武



岩下 力



大月 和宣

## アレルギー膠原病科

アレルギー膠原病科では免疫疾患全般診療をおこなっています。

この中には、

1. 関節リウマチ、膠原病
  2. 免疫機序の関与がある腎疾患
  3. 気管支喘息や様々なアレルギー性疾患
- といった疾患が含まれます。

#### 1. 関節リウマチ、膠原病

これらの疾患は従来難病として考えられてきました。満足のいく治療もなく、患者様の生活の質（QOL）を直接障害する疾患で、最近では「生活障害病」と呼ばれることがあります。実際、これらの病気の結果、身体障害者になる方も多くいました。一方、最近これらの疾患の原因がかなり判明し、従来とは異なり有効性の高い薬品も開発されてきました。当科ではこの新しい治療を積極的に取り入れて、患者様の生活障害が起らないよう診療していきたくと考えております。しかし、有効性の高い薬物はどうしても効果の反対の面（つまり副作用）が出やすくなります。患者様の病気の強さ、体力、ご希望、生活環境などに対応して治療法の検討が必要と思われれます。このため、これらの疾患の診療には長い診療時間がかかります。完全な解決策は残念ながらありませんが、当院に新しく導入された電子予約システムなどを利用して出来るだけ待ち時間をなくす努力をしていきたくと考えています。

#### 2 免疫機序の関与のある腎疾患

腎炎、ネフローゼの一部には免疫機序による疾患が

あります。これらの疾患に対して、従来の安静や食餌療法ばかりでなく、積極的に炎症を抑えることにより著明な改善が得られることが明らかになってきました。ただし、その患者さんの病気の勢い、腎臓に対してすでに生じている障害の程度、体力などを検討してちょうどよい治療法を検討する必要があります。そのため、腎生検といって腎臓から細胞をとって障害の程度、種類を検討する検査が必要になることがあります。

#### 3. 気管支喘息や様々なアレルギー性疾患

気管支喘息はときどき息苦しい程度の軽症の方から、副作用の強い薬を毎日服用しても症状を抑えきれない重症の方に至るまで様々な程度の病状の患者様がいらっしゃいます。当科では「喘息予防・管理ガイドライン」をベースに、それぞれの患者様の状態に合わせた適切な診療、治療、ご指導が出来るようにと考えております。

春先から始まるスギ花粉症も全国民の3割近くが何らかの症状を生じているとも言われ、患者様の生活の質（QOL）を損なうやっかいな疾患です。市販薬等では症状を抑えきれない、もしくは薬の副作用（眠気、倦怠感、便秘等）で困っているなどの方には、より快適に過ごすための適切な治療法の選択について患者様とご相談していきたくと考えております。



松村 竜太郎



佐野 英樹

総合案内日誌より—総合案内係を開始して— 6病棟 看護師長 鈴木美保

看護部では、平成16年7月より外来に総合案内係を設けました。平日の8:30から11:30の3時間、師長・副師長が交代で行っています。

総合案内係として受診の手続きや、施設のご案内をしていると患者さまやご家族から率直なご意見を戴くことがあり、病院として改善しなければいけないことに気づかされたりしています。普段、当たり前と思っていたことが、とても患者さまには大変なことであると改めて考えさせられたこともありました。患者さまは何かしら不安を抱えて病院を受診されています。そのため、受診方法一つにしても側ですぐ聞くことができる総合案内係はとても心強い存在だと自負しています。当初、案内することに慣れない私たちは何かとごちない雰囲気を出して活動していたかと思いますが、最近ではスチュワーデスのような笑顔での対応が出来るようになりました。そして、今では患者さまからもこの病院は親切だとお褒めの声を度々戴くようになりました。

これからも、患者様のお役に少しでもたてるように総合案内係を続けて行きたいと考えています。



食のお話 ~その1~

栄養管理室

朝食を食べよう！健康は朝食から

朝は少しでも寝てたいので朝食が食べられない。朝はなんとなく食欲なくて食べない。太るから朝食を抜いている。  
こんな理由で食べない人がいます。少しだけ早起きして朝食を食べましょう。

朝食が大切なわけ

朝食をとることで身体は目覚めます。寝ている間に低下した体温を上昇させ、身体をウォーミングアップさせる役割があります。また、脳のエネルギー源はブドウ糖です。ごはんやパンなどの炭水化物はブドウ糖のもとになります。朝食を食べきちんと脳に働いてもらいやる気や集中力を高めましょう。私たちの身体はいつ飢餓状態になってもいいように、食べ物を脂肪としてためておくため朝食を抜くと身体は軽い飢餓状態と思い昼食や夕食で食べたエネルギーを脂肪にかえたりやすくなってしまいます。また、2食ではビタミンや、ミネラルが不足することも心配です。

パンと牛乳、ごはんと納豆、無理ならバナナ1本からでも始めましょう！

今月の食材



かき【牡蠣】

かきは今が旬、また「海のミルク」ともいわれ消化がよく栄養のバランスのよい食品です。特にタウリン、亜鉛、などを多く含みます。

「タウリン」って何？

アミノ酸の一種です。魚介類に多く含まれ血圧やコレステロールを正常に保つ働きがあります。

「亜鉛」は？

発育を促進し、感染症を予防したり、味覚や臭覺を正常に保ちます。



かきフライ



かき鍋



かきのクリームシチュー



かきのグラタン

\*かきはコレステロールもあります。いろいろな野菜やきのご類と組み合わせて食べましょう。